

後期基本計画 令和 4年度 施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：03 行政経営を支える情報システム基盤の確保

施 策：01 行政情報システム基盤の円滑な運用

施策担当職・氏名	情報システム課 総括主査 熊谷 誉也
-----------------	--------------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>本市の行政サービスへの満足度は、市民が感じる暮らしやすさや幸福感の醸成に対しても、大きな影響を与えるものと考えます。この施策では、行政情報システムの安定稼働を確保しつつ、行政サービスの基盤として各分野の施策を支援することで、市民の行政サービスへの満足度の向上を間接的に図るものです。また、システム安定稼働のため、情報システム調達の最適化による財政基盤安定化への寄与、情報化のための人材育成を推進します。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らしシステム安定稼働率 単 位 %	100	100	100	100	100	100	-
	単 位							0.0
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和2年度	令和3年度 (見込)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	4 年 後
1	978 住基LANシステム管理事業 住基LANシステムの安定稼働率（稼働実績／稼働予定時間） 単 位 %	目 標 値	100	100	100	100	100	100	0
		実 績	100	100	-	-	-	-	-
2	988 庁内LANシステム管理事業 庁内LANシステムの安定稼働率（稼働実績／稼働予定時間） 単 位 %	目 標 値	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	0
		実 績	100	100	-	-	-	-	-
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							

後期基本計画 令和 4年度 施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：03 行政経営を支える情報システム基盤の確保

施 策：01 行政情報システム基盤の円滑な運用

施策担当職・氏名 情報システム課 総括主査 熊谷 誉也

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

行政経営を支える情報システムについては、セキュリティを確保しながら最適化を推進し、適切な管理・運用のもと安定稼働しており、各分野の施策における市民が必要とする情報を、安全・適切に提供するための基盤として有効に機能しています。

また、仮想化等の新たな技術を導入しながら、管理業務の簡易化やセキュリティ対策及び耐障害性の向上など、目に見えにくいために対処が難しい部分の改善も進んでいます。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

国のIT戦略によるIT活用社会の進展やコロナ渦により、住民のライフスタイルやニーズが大きく変化してきており、時代に即した住民サービスの提供が必要です。

その一方で、サイバー攻撃や情報漏えいへの対策といったセキュリティ強化策や、新型コロナウイルス感染や大規模災害時等の非常時対応能力等の重要性が高まっています。

(3) 基本施策との関連性

各情報システムは、既に各業務の遂行に不可欠な存在となっており、安全かつ安定して稼働できる環境を維持することは、市民サービスへ大きく影響します。そのため、情報システムの最適化及びセキュリティ強化を推進しながら、行政経営を支える情報システム基盤を円滑に運用することは、基本施策に寄与するものです。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- 行政情報システム基盤の適正管理と円滑な運用に努めます。
- セキュリティ運用の見直しと安全確保を図ります。
- 住民情報システムの円滑な更新を計画します。
- 情報システム最適化の推進と新たなIT技術や外部資源活用の研究を進めます。
- 専門的人材の育成に努めます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題

- 市民の利便性向上及び職員の業務効率化を目的としたデジタル技術導入の推進により、行政経営を支える情報システム基盤づくりに努めます。

(3) 基本計画内方針及び令和 4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- 行政経営の安定化のためにも、情報システム最適化の取組みは最優先事項であり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への対応や、国のIT政策方針の動向を注視していく必要があると捉えています。
- 市民サービスを安定的に提供する上で、行政情報システム基盤の安定運用とセキュリティの強化の両立は、重点課題であると考えます。また、法令に基づく情報システムの標準化及び共通化への対応は、行政情報システム基盤の運用状況に与える影響が大きいため、特に重要であると捉えています。

